【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成29年3月30日(2017.3.30)

【公開番号】特開2015-166771(P2015-166771A)
【公開日】平成27年9月24日(2015.9.24)
【年通号数】公開・登録公報2015-059
【出願番号】特願2014-40800(P2014-40800)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｂ　5/00　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/232　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｂ　5/00　Ｊ
Ｈ０４Ｎ　5/232　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成29年2月22日(2017.2.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
振れ検出手段により検出された振れ量に基づいて演算される駆動量に基づいて光学部材を駆動することで、撮影画像のブレを補正するブレ補正を実行する第１の補正手段と、
前記光学部材の中心位置をずらすことで、撮影光学系に係る解像度を補正する光学補正を実行する第２の補正手段と、
前記撮影光学系の絞り量に応じて、前記光学補正を緩和する制御手段とを備える
ことを特徴とする撮像装置。
【請求項２】
前記制御手段は、Ｆ値が小さいほど前記光学補正の緩和量を大きくし、Ｆ値が大きいほど、光学補正の緩和量を小さくする
ことを特徴とする請求項１に記載の撮像装置。
【請求項３】
前記制御手段は、前記光学補正を緩和するとともに、前記ブレ補正のための前記光学部材の駆動範囲を広げる
ことを特徴とする請求項１または請求項２に記載の撮像装置。
【請求項４】
前記制御手段は、露出確定時から露光の開始指示がされるまでの間に、前記光学補正を緩和する
ことを特徴とする請求項１乃至３のいずれか１項に記載の撮像装置。
【請求項５】
前記制御手段は、前記露光の開始指示がされてから露光期間中は前記光学補正の緩和を停止する
ことを特徴とする請求項４に記載の撮像装置。
【請求項６】
前記制御手段は、露光期間終了後、現像処理中に、前記光学補正の補正量を徐々に前記露出確定時の補正量に戻す
ことを特徴とする請求項５に記載の撮像装置。

【請求項７】
前記制御手段は、前記露光の開始指示がされることなく前記撮像装置を撮影待機状態にする指示がされた場合に、前記露出確定時から前記撮像装置を撮影待機状態にする指示がされるまでの間に、前記光学補正の補正量を緩和する
ことを特徴とする請求項１乃至６のいずれか１項に記載の撮像装置。
【請求項８】
前記制御手段は、前記撮像装置が撮影待機状態である期間中に、前記光学補正の補正量を徐々に前記露出確定時の補正量に戻す
ことを特徴とする請求項７に記載の撮像装置。
【請求項９】
前記制御手段は、前記検出された振れ量に応じて、前記光学補正の緩和速度を変更する
ことを特徴とする請求項１乃至８のいずれか１項に記載の撮像装置。
【請求項１０】
撮影画像から主被写体を検出する被写体検出手段を備え、
前記撮影画像に対する前記検出された主被写体の領域の割合に応じて、前記光学補正の緩和量を変更する
ことを特徴とする請求項１乃至９のいずれか１項に記載の撮像装置。
【請求項１１】
振れ検出手段により検出された振れ量に基づいて演算される駆動量に基づいて光学部材を駆動することで、撮影画像のブレを補正するブレ補正を実行する第１の補正手段と、前記光学部材の中心位置をずらすことで、撮影光学系に係る解像度を補正する光学補正を実行する第２の補正手段とを備える撮像装置の制御方法であって、
前記撮影光学系の絞り量に応じて、前記光学補正を緩和する制御工程を有する
ことを特徴とする制御方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
本発明の一実施形態の撮像装置は、振れ検出手段により検出された振れ量に基づいて演算される駆動量に基づいて光学部材を駆動することで、撮影画像のブレを補正するブレ補正を実行する第１の補正手段と、前記光学部材の中心位置をずらすことで、撮影光学系に係る解像度を補正する光学補正を実行する第２の補正手段と、前記撮影光学系の絞り量に応じて、前記光学補正を緩和する制御手段とを備える。